

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南アルプス最南部山岳遭難防止対策事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 南信州山岳文化伝統の会 飯田市南信濃木沢811 旧木沢小学校
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,638,022 円 (うち支援金: 997,000 円)

事業内容

- ・コンパスと連携した地域限定登山届の開発・普及  
簡略登山届出システムを7月中旬に完成させ、登山届出の促進を図った。
- ・ココヘリ端末の申込・手交システムの構築  
IT技術を駆使した遭難場所探知サービス端末の手交・回収業務7月下旬から登山相談所で開始した。
- ・登山相談所の設置  
相談員を配置して対面で登山者に情報提供をした。  
[相談所設置期間] 7月15日～10月16日の94日  
[相談員配置日数] 45日 1,287人に情報提供した。
- ・登山情報チラシの配布 (2,500枚)  
この山域の入山者が承知すべき情報を記載したチラシを配布した。  
[時期・配布場所] 7月中旬 登山相談所/宿泊施設
- ・全山調査  
シーズンの前に山小屋、登山道(危険ヶ所)、トイレ、通信状況等を把握するため山岳ガイドにより調査した内容をチラシに反映し、登山相談所で情報提供した。
- ・地域の関係者との連携  
・登山相談所の相談員を地元の遭難防止対策協会及び遠山山の会のメンバーでシフトを組み配置した。



【芝沢ゲート登山相談所】

【目標・ねらい】

- ① 山岳遭難現場の特定がしづらい山域特性に対応する対策の具体化
- ② 最新のIT技術を活用した遭難防止・捜索対策のビルトイン
- ③ 地域の山岳関係者、観光関係団体と連携した態勢の確立

事業効果

- ① ITを活用した遭難防止・現場探知のための基盤をコンパスやココヘリの協力を得ながら確立できた。
- ② はじめて設置した登山相談所の相談員からの情報提供により、遭難防止意識を持って入山する登山者を増やすことができた。
- ③ 地元の遭難防止対策協会及び遠山山の会との協力関係が深まった。

※自己評価【A】

【理由】  
・令和3年中の4件の死亡・行方不明事故をゼロ件に抑えることができた。

今後の取り組み

- ① 自力下山したとはいえ令和4年7月に遭難事故が発生したこと、また、令和5年1月に落石による死亡事故が発生したことから、この要因を分析して登山者へ情報提供していく。
- ② 令和4年度に整備したドローン及びトランシーバーを活用した遠山郷山岳遭難対策総合訓練(遠山郷遭対前線本部、ココヘリドローンサーチチーム、各小屋)を実施し、地域の連携態勢を強化する。
- ③ 引き続き地元の遭難防止対策協会及び遠山山の会のメンバーとともに登山相談所からの情報発信を継続する。